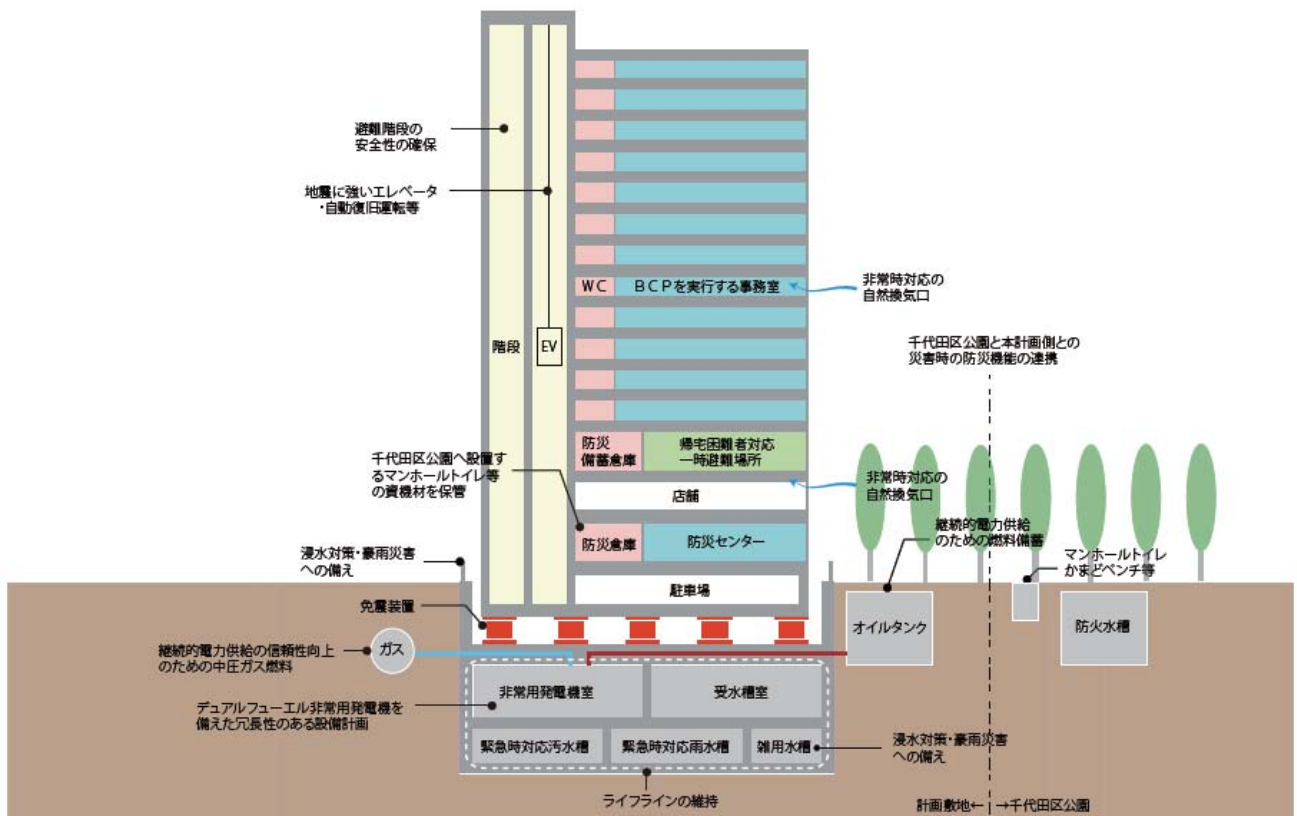


「神田錦町三丁目共同建替計画」について

【主な特徴】

1. 災害時におけるBCP確保と地域防災機能の強化

- ・中圧ガス(インフラ側は耐震認定管)利用により 10日間程度連続運転可能デュアルフューエル型非常用発電機を採用
- ・Sグレードの耐震性能を満たす免震構造採用(地下1階駐車場と地下2階機械室の中間層に免震装置設置)
- ・3階カンファレンスホールでは災害時に帰宅困難者受入れ対応(防災備蓄倉庫を設置)
- ・地域の防災上の拠点として神田消防団格納庫を1階に配置
- ・本計画で整備する千代田区公園にマンホールトイレ、防火水槽設置



2. 歴史を継承し、新たな賑わいを創出

- ・学士会館、共立講堂が並ぶ歴史的景観を継承し、博報堂旧本館（岡田信一郎設計・1930年竣工）のファサードを復元
- ・緑豊かな広場や神田警察通りに面した低層部分に心地良いテラスレストラン等の商業施設を配置
- ・神田祭りや地域のイベントに利用できる約400平方メートルのオープンスペースを確保
- ・3階に地域の大学や住民、企業等が利用できるカンファレンスホールを設置

3. 皇居の緑とつながるまとまった緑地スペースを創出

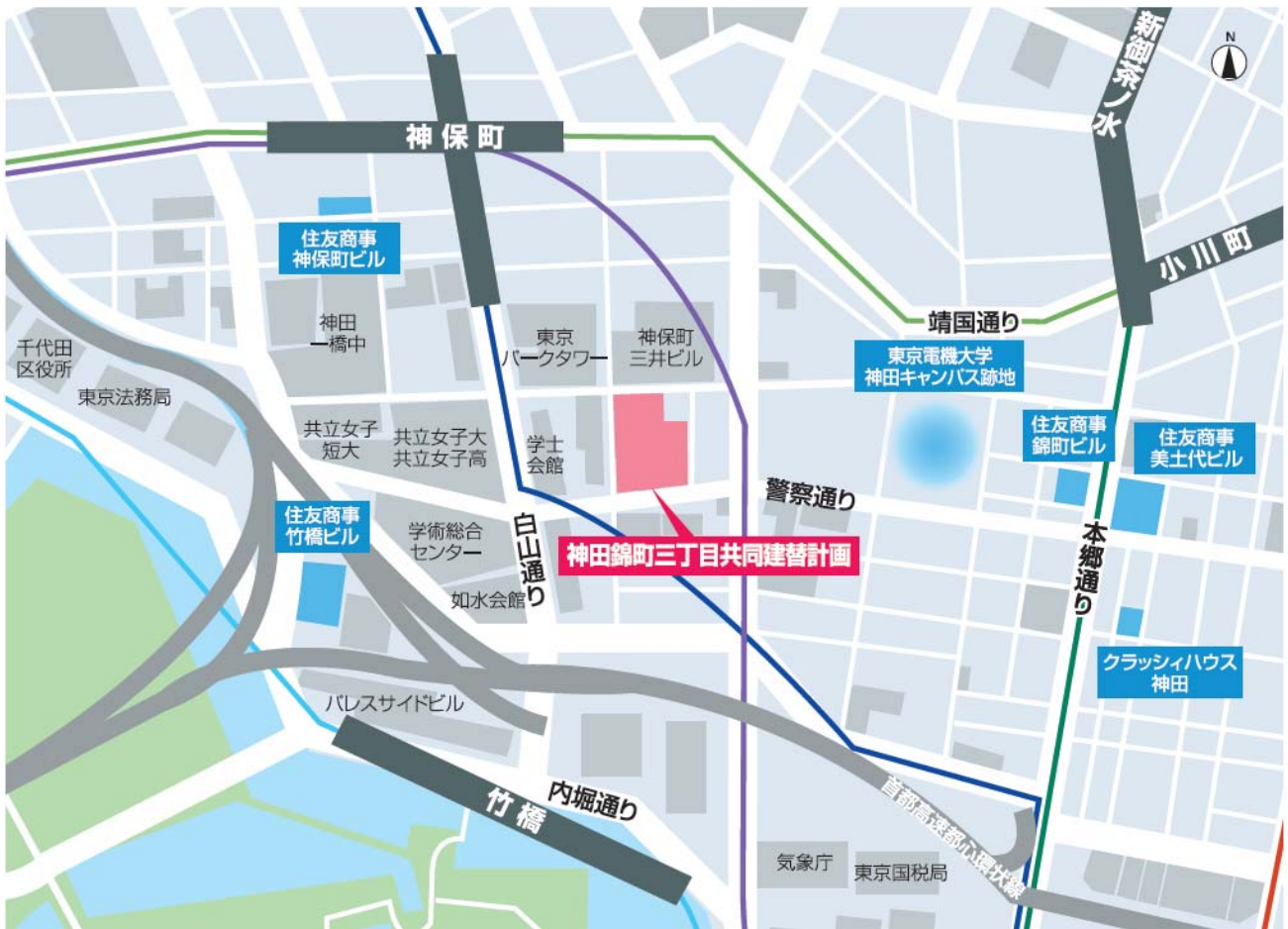
- ・ 皇居から湯島聖堂、上野の森とつづくエコロジカルネットワークの一翼をになう緑地の創出
- ・ 1000 平方メートルを超える緑豊かな広場には四季の花が咲き、実のなる多様性のある植栽
- ・ 生物多様性を考慮し鳥の餌となる実がなる高木やバードバスを整備
- ・ 歩行者が手に触れられる緑化に配慮し、滞留空間のある緑陰空間を創出
- ・ 外構面積の 35%以上を緑化しヒートアイランド現象を低減

4. 高い環境性能を実現するハイグレードオフィス

- ・ 基準階 2000 平方メートル超、奥行き 18 メートルのレイアウト自由度の高い無柱・整形フロアー
- ・ 南面は 1.2 メートルの水平庇、東西面は縦庇、東西南面の窓は LOW-E ペアガラス採用により日射を低減
- ・ 省エネに配慮したデシカント空調、明るさ・人感センサー付照明を採用
- ・ 非常時対応の自然換気口を設置



【ロケーション】



以上